

青 桐

茗溪会 千葉支部

青桐会機関紙

第 19 号

平成二十六年六月三十日発行

代表幹事あいさつ

「型」を持つ。

千葉県立君津商業高等学校

野 口 良 和

みなさんも、御存知だと思いますが、日本のプロ野球に名球会というものがあります。打者なら、二〇〇〇本安打以上投手なら、二〇〇勝あるいは二五〇セーブ以上の成績を残せた者だけが入会資格を持ちます。投手の二〇〇勝を例にとれば、一年に十二勝あげるとして、二百勝するには、十七年かかる計算になります。ある年に大活躍する選手は珍しくありませんが、十年以上、水準以上の成績を維持できる選手はごく稀です。首位打者や最多勝のタイトルはとらなくとも、怪我もせず、毎試合出場して、二割八分の成績を毎年残す選手が、レギュラーとしてチームから信頼される名選手ではないでしょうか。

前にあげたような息の長い選手に共通していることは、自分の「型」を持っているということです。調子の良い時も、不調の時も自分のペースを崩さない「型」を持つことが、長期にわたって安定した成績を残すには必要です。教員という仕事でも、管理職になる、ならないにかかわらず、どんな学校種



も、どんな課程でも、戦力として信頼される教員は自分の「型」を持っています。最近の教育界では、きめ細やかさや、数値目標の設定が喧伝されていますが、それ自体は、時代の要請として真摯に受け止め、精進しなければならぬことです。我々は、サービスマンや接客業とは一線を画す教育者です。我々は、今まで以上に、教育者としての倫理観・哲学に裏打ちされた、教育者としての「型」を持つ必要があります。教育者として、教育の基礎・基本的知識を習得し、原則・本質に基づいて、仕事で直面する問題を客観的・多面的にとらえ、論理的に判断している教育者としての「型」を持つということなのです。

もちろん、大前提として、生徒愛に満ちた人間性と教科教員としての教養が必要なのは言うまでもありません。さて、茗溪会や青桐会の先輩や同僚の方には、見事な「型」をもった人がたくさんいます。先輩方の話に耳を傾け、御指導をいただき、また、同僚の方と、教育について意見を交わし、自分の教育者

としての、ひいては人間としての「型」を模索する場として、同窓の集まる場があるということは、私たちにとって大変恵まれた、幸福なことだと思います。同窓の思い出を語りながら、同じ泉の水を飲んだ者としての矜持を持ちながら、胸躍らせて集まりたいものです。少々、大仰な言い方をしてみましたかかもしれませんが、構えて来るといふことではなく、人生の豊かな出会いの一つの場にしていただけたらと思います。

雑感「教育の力」に思う ― 挨拶に代えて ―

茗溪会 千葉支部長

秋 山 尚 功



◇ 平成3年の今頃（普賢岳噴火被害拡大中）のこと。筑波宿泊研修中の私は、生活統括者として朝礼から夜の反省会まで多忙な毎日を経験した。感想の一端に、①若い世代に目立つ体操の粗雑傾向、②義捐金呼びかけへの善意の結集、等が浮かぶ。自身の小学校時代を思い出し、教育の影響力かと自問したものである。

◇ 我々の世代は、ラジオ体操は全体が揃うまで徹底して教育された。善行と言えば、「清水選手の美談」の授業も蘇る。要旨はテニス世界大会のこと。大接戦の終盤に相手の外国人選手が足を滑らしたが、清水選手は咄嗟に相手が打ち易い所に返球してやったため、逆に強打されて敗北。相手の不利をつく卑怯を避けた清水選手の善意こそ日本人の美德と力説された先生。私は子ども心にも深い感銘を覚えた。

◇ 青桐会員有志との地域懇談会でのこと。話題が米大統領リンカーン（以下L）像に及んだ。映画で奴隷解放者「人道主義者」としてのL像に感銘した某氏が、学年生徒にも是非伝えたいと熱く語った。惹き込まれるように私も、別の視点から愚見を述べ論議を楽しんだ。要旨は、Lが連邦分裂の危機をどう救済するかという政策論から奴隷解放策を考える観点。その翌日、同趣旨の記事がA紙に載ったのは全くの偶然。私は氏の教養と意欲に敬意を表し、生徒の啓発を工夫する講話の成功を念じながら、充実した気持ちで家路に就いた。

◇ 今、「道徳」教育の充実が叫ばれ、高校での実施も組上に乗った。教材には優れた業績を残した人物の伝記等が有効だが、その評価や扱い方は時代によっても変わる。物事には様々な側面が潜むので、指導に当たっては、教師の適切な配慮が問われる。高校生向けには、「事実と真実の間」を吟味し、「多面的総合的に考察する」視点が大切と思う。選挙権の18歳への引き下げ等も話題になる昨今である。教育の影響力は将来に亘って大きい。優秀な会員各位の益々の活躍を期待する次第です。

